

パレット -Palette-

2024. 春

NO.66

ご自由に
お持ち帰りください



CONTENTS

- ・院長コラム
新型コロナウイルスワクチン感染 2024年4月以降の対応
- ・リハビリり ぎっくり腰
- ・トピック 新入職員紹介
- ・外来診察のご案内

～笹井眞砂子さまより～

当院のホームページも
ご覧ください



<https://www.kurume-reha.or.jp>

理念

- 必要不可欠
「地域と生きる」「地域を生かす」地域において必要不可欠な存在であること。
「あると便利」ではなく「ないと困る」組織作りを目指します。

基本方針

- 全人的医療の提供に努めます。
説明と同意のもとに、個々の皆様の病状や人生観に合わせた尊厳ある医療を目指します。
- 医療の選択性の確保と総合支援
皆様をご希望される医療機関等へのご紹介や、介護福祉関連サービスが継続して受けられるよう支援いたします。
- 地域ネットワーク
地域における医療・介護・福祉の連携活動、交通事故重度障害者の支援事業、福岡県の介護予防事業、久留米市の包括支援事業などに対して、積極的に参加し支援していきます。
- 自己研鑽
チーム医療を駆使した最新医療を提供するため日々自己研鑽に努めます。

新型コロナワクチン 2024年4月以降の対応



前回のパレット 65 号に続いて新型コロナウイルスの話です。昨年5月に COVID19（新型コロナウイルス）はようやく「5類感染症」に移行して、インフルエンザウイルス並みに格下げされたことをご報告しました。

もうすぐ1年が経過しますが、COVID19 ウイルス感染がなくなったわけではなく、今でも一定数の感染者が発生しています。久留米リハビリテーション病院では、これまで通り発熱のある患者さんはもちろん、呼吸器症状、味がわからなくなったなどで COVID19 ウイルス感染が疑われる方には PCR 検査（状況によりインフルエンザ検査と併用）を行います。大半が軽症者であり自宅療養となりますが、状態によっては入院治療を行います。その際は感染が拡大しないよう個室隔離のもとに感染予防対策が実施されます。これはインフルエンザウイルス感染者も同じです。繰り返しになりますが、COVID19 感染での重症化は現在ほとんどみられていませんので、あまり神経質になることはありません。久しぶりにマスク無しの春を楽しんでください。

一方、COVID19 ウイルスワクチン接種については、国の方針として65歳以上の高齢者を定期接種の対象者として令和6年4月からは有料で継続されることになっています。定期接種対象者以外の方であっても、任意で接種することができますが、ワクチン価格は現時点では決まっていないようです。

さらにインターネット情報では、久留米市を含む各自治体において12歳未満の小児に対してもワクチン接種が推奨されていますが、細かな約束事があるようですのでお近くの小児科や保健所にご相談ください。

パレット 65 号でも一部ご紹介しましたが、久留米リハビリテーション病院としては各分野からの情報を分析して、副反応（副作用）や有効性等の理由により、3回目以降からは病院職員も含めて同ワクチンの接種は推奨せず、積極的投与も控えてきました（希望者のみ少数限定実施）。12歳未満の小児については、やはり安全性を考慮して、病院内だけでなく集団接種会場などの医師派遣先においても接種しないように各医師に指示をしてきました。このような経緯もあり、当院では、2024年4月1日以降について、COVID19 ウイルスワクチンを取り扱う予定はありませんとお知らせ申し上げます。

令和6年4月1日 病院長 柴田 元



～リハビリテーション便り～

ぎっくり腰とは？

いわゆる「ぎっくり腰」は急に起こった強い腰の痛みを指す一般的に用いられている名称で、病名や診断名ではありません。何か物を持ち上げようとしたとき、腰をねじるなどの動作をしたときなどに起こることが多いですが、朝起きた直後や何もしないで起こることもあります。痛みの原因はさまざま、腰の中の動く部分（関節）や軟骨（椎間板）に許容以上の力がかかってけがしたような状態（捻挫、椎間板損傷）、腰を支える筋肉やすじ（腱、靭帯）などの柔らかい組織（軟部組織）の損傷などが多いと考えられます。しかし、足に痛みやしびれがあったり、力が入らないなどの症状があったりするときには椎間板ヘルニアや中年以上では腰部脊柱管狭窄症などの病気（疾患）の可能性もあります。さらに、がんが転位して弱くなった背骨の骨折（病的骨折）や、ばい菌による背骨や軟骨（椎間板）の化膿など重大な原因が潜んでいることも時にあります。通常ではない強い腰痛のときは整形外科を受診して正しい診断を受け、万が一にも重大な原因に対して手遅れにならないように注意する必要があります。



外来診察のご案内

	月	火	水	木	金	土	日祝
午前	一般内科	院長	副院長	院長	一般内科	一般内科	休診
	整形外科	泌尿器科	整形外科	消化器内科	整形外科	整形外科	
		糖尿病 内分泌			膠原病 ※第3週		
午後		皮膚科 ※14時～					

健康診断・予防接種 予約制となっております。外来受付にお問い合わせください。

※青字は予約制ですのでご注意ください。※外来リハビリテーションは午後も行っております。(予約制)

※午後の診察は、火曜日の皮膚科のみ行っています。

※急患及び紹介の場合は、午後でも診察は行っています。

※ご不明な場合はいつでもお問い合わせください。

新人職員研修



令和6年度になり13名の職員が入職致しました。辞令交付や新人研修も終わり、新しい体制でのスタートです。よろしくお願いします。



医療法人かぶとやま会
久留米リハビリテーション病院

〒839-0827

久留米市山本町豊田 1887

TEL:0942-43-8033 FAX:0942-45-0388

HP: <https://www.kurume-reha.or.jp>

e-mail: k-reha@kurume.ktarn.or.jp



<編集後記>

新年度が始まり今年は暖かい日が続いております。日本の旧暦では卯の花が咲き誇るこの月を卯月と呼び、新しい生命の息吹と活力に満ちあふれた時期とされています。冬の寒さに耐え草花も咲き始める春、様々な場所に出かけてみたいですね。